

2020 年度
集中治療専門医研修施設調査報告

2021 年 4 月 19 日

一般社団法人日本集中治療医学会
ICU 機能評価委員会

1 目的

日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設の実態(病床数、医師とりわけ集中治療医、メディカルスタッフなど)、診療内容、および患者転帰を明らかにする。なお、本調査は、日本集中治療医学会 ICU 機能評価委員会の事業として 2018 年から継続実施し、2019 年度より集中治療専門医研修施設は参加が必須となっている。

2 調査対象と方法

- 日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設
- 2020年4月1日時点の認定362施設より、認定辞退を表明した6施設を除いた356施設を対象とした。
- 調査一部は外部委託とした(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)
- 調査時期
 - 2020年9月1日～2021年1月20日
- 調査方法
 - 連絡先返信票(9月9日締切)と調査票(9月30日締切)の2段階調査を行った。
 - 各施設の責任者宛に、電子メールにてWord(連絡先返信票)とExcel(調査票)を用いて回答するよう依頼した。
 - 返送のない施設については、繰り返し返送の依頼を行った。
 - 各施設における現状(患者関連データについては2019年データ、病床数・職員数は2020年9月1日時点)を収集した。
 - 返送データの確認作業を行い、内容に疑義があるものについて各施設に修正を依頼した。
- データの利用:調査を行うにあたり、本調査は日本集中治療医学会が行う調査であり、解析後のデータは各施設にフィードバックすることを明記した。

3 結果

3.1 施設実態

3.1.1 調査対象施設:356 施設(前年比 +13 施設)

3.1.2 主な医療保険区分: 特定集中治療室管理料 1 または 2 178 施設 (前年比 +18 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 98 施設 (前年比 -10 施設)
救命救急入院料 2 または 4 72 施設 (前年比 +4 施設)
小児特定集中治療管理料 8 施設 (前年比 +1 施設)

3.1.3 回答施設:356 施設

3.1.4 回答率 :100%

3.2 病院施設の概要、他の施設認定等

3.2.1 各施設の病院病床数(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数])

特定集中治療室管理料 1 または 2 (178 施設)	641 床 [515-834]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (98 施設)	507 床 [417-661]
救命救急入院料 2 または 4 (72 施設)	705 床 [524-921]

小児特定集中治療室管理料(8 施設)	403 床 [220-543]
全体(356 施設)	613 床 [487-789]

3.2.2 各施設における HCU[§]の有無

有り	無し
66.2% (194 施設)	33.8% (99 施設)

§ ハイケアユニット入院管理料 1,2、脳卒中ケアユニット入院医療管理料

3.2.3 感染症指定医療機関の該当

特定感染症指定医療機関	0.8%(3 施設)
第一種感染症指定医療機関	11.5%(41 施設)
第二種指定感染症医療機関	25.0%(89 施設)
該当なし	62.6%(223 施設)

3.3 加算病床数(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.3.1 加算病床数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (178 施設)	10 床 [8-14]、前年比±0
特定集中治療室管理料 3 または 4 (98 施設)	8 床 [6-10]、前年比±0
救命救急入院料 2 または 4 (72 施設)	10 床 [8-14]、前年比±0
小児特定集中治療室管理料(8 施設)	15 床 [12-17]、前年比±0
全体(356 施設)	10 床 [8-14]、前年比±0

3.3.2 病院 100 床あたりの加算病床数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (178 施設)	1.58 床 [1.14-2.11]、前年比 -0.01
特定集中治療室管理料 3 または 4 (98 施設)	1.67 床 [1.30-2.20]、前年比 +0.15
救命救急入院料 2 または 4 (72 施設)	1.70 床 [1.07-2.55]、前年比 +0.06
小児特定集中治療室管理料 (8 施設)	3.83 床 [2.12-5.61]、前年比 +0.25
全体(356 施設)	1.65 床 [1.20-2.27]、前年比 +0.09

※ 施設毎の「(加算病床数/病院病床数)×100 床」より算出

3.4 集中治療室の概要

3.4.1 当該集中治療室における陰圧病床の有無

有り	無し
73.4% (260 施設)	26.6% (94 施設)

3.4.2 当該集中治療室における陰圧病床数(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数])

全体(354 施設)	1 床 [0-2]
------------	-----------

3.4.3 集中治療室責任者の ICU 専門医資格保有率

特定集中治療室管理料 1 または 2 (178 施設)	87.1%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (98 施設)	83.7%
救命救急入院料 2 または 4 (72 施設)	72.2%

小児特定集中治療室管理料(8 施設)	100.0%
全体(356 施設)	83.4%

3.4.4 主な形態 (342 施設)

General ICU	Emergency ICU	Pediatric ICU	Surgical ICU	Medical ICU	Coronary care unit	その他
66.6% (237 施設)	18.0% (64 施設)	5.9% (21 施設)	5.9% (21 施設)	0.3% (1 施設)	0.6% (2 施設)	2.8% (10 施設)

3.4.5 運用体制

	Closed ICU	Mandatory critical care consultation	Elective critical care consultation	No critical care physician
特定集中治療管理料 1,2 (178 施設)	23.6% (42 施設)	58.4% (104 施設)	18.0% (32 施設)	0.0% (0 施設)
特定集中治療管理料 3,4 (97 施設)	12.4% (12 施設)	48.5% (47 施設)	39.2% (38 施設)	0.0% (0 施設)
救命救急入院料 2,4 (72 施設)	43.1% (31 施設)	36.1% (26 施設)	20.8% (15 施設)	0.0% (0 施設)
小児特定集中治療室管理料 (8 施設)	75.0% (6 施設)	25.0% (2 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)
全体 (355 施設)	25.6% (91 施設)	50.4% (179 施設)	23.9% (85 施設)	0.0% (0 施設)

Closed ICU (集中治療医が治療方針をすべて決定する)

Mandatory critical care consultation (集中治療医は全患者に介入する)

Elective critical care consultation (主治医から依頼があった患者のみ、集中治療医は介入する)

No critical care physician (集中治療医がいない)

3.5 医師の診療体制(中央値 [第1四分位数-第3四分位数])

3.5.1 集中治療室に勤務する専従・専任医の人数(合計)

	2019 年度	2020 年度
専従医	1492 人 (340 施設)	1743 人 (355 施設)
専任医	1057 人 (337 施設)	1451 人 (349 施設)
専従医 + 専任医	2531 人 (337 施設)	3006 人 (347 施設)

3.5.2 専従・専任医が所有する専門医資格(重複資格を含む)

	集中治療専門医	救急科専門医	麻酔科専門医	左記以外
専従医 (1743 人)	29.1% (708 人)	28.9% (704 人)	17.8% (433 人)	24.3% (591 人)

専任医 (1451 人)	13.8% (232 人)	17.6% (295 人)	23.4% (393 人)	45.1% (757 人)
-----------------	------------------	------------------	------------------	------------------

3.5.3 集中治療室に勤務する専従・専任医の人数(施設当たり)

	Closed ICU	Mandatory critical care consultation	Elective critical care consultation	全体
専従医	8 人[4-13] (91 施設)	2 人[1-5] (179 施設)	2 人[1-3] (84 施設)	3 人[1-7] (354 施設)
専任医	1 人[0-6] (87 施設)	1 人[0-5] (177 施設)	2 人[1-6] (84 施設)	1 人[0-5] (348 施設)
専従医+専任医	11 人[8-17] (82 施設)	5 人[3-9.5] (169 施設)	5 人[2-8.8] (80 施設)	7 人[3-11] (332 施設)

※ 専従医:業務時間の80%以上かつ週4日以上32時間以上を集中治療室で勤務

※ 専任医:専従医に該当しないが、業務時間の50%以上かつ週20時間以上を集中治療室で勤務
(いずれも手術室での麻酔業務、救急外来での診療は含めない)

※ 「専従医+専任医」については、専従医もしくは専任医のいずれかのデータが欠損している施設は除外した

3.5.4 集中治療室に勤務する専従・専任医のうち、集中治療専門医人数(施設当たり)

	Closed ICU	Mandatory critical care consultation	Elective critical care consultation	全体
専従医	3 人[1-4] (91 施設)	1 人[1-2] (179 施設)	1 人[1-2] (83 施設)	1 人[1-3] (353 施設)
専任医	0 人[0-1] (82 施設)	0 人[0-1] (169 施設)	0 人[0-1] (81 施設)	0 人[0-1] (333 施設)
専従医+専任医	3 人[2-4] (82 施設)	2 人[1-3] (169 施設)	2 人[1-2] (79 施設)	2 人[1-3] (331 施設)

※ 「専従医+専任医」については、専従医もしくは専任医のいずれかのデータが欠損している施設は除外した

3.5.5 各時間帯に勤務する医師数(356施設)

	午前10時	午後8時	午前4時
平日	3 人 [2-5]	1 人 [1-2]	1 人 [1-2]
土日祝日	2 人 [1-3]	1 人 [1-2]	1 人 [1-2]

※ 初期研修医は除く

3.5.6 医師勤務体制

2交代 (8-17,17-8 等)	2交代 (12時間毎)	1交代 (24時間勤務)	その他
74.4% (265 施設)	5.3% (19 施設)	12.4% (44 施設)	7.9% (28 施設)

3.5.7 24時間を超える勤務体制(例:日勤→夜勤→日勤)

有り	無し
30.6% (109 施設)	69.4% (247 施設)

3.6 看護師の診療体制(中央値 [第1四分位数-第3四分位数]、中央値の前年比)

3.6.1 看護師の他部署との兼任の有無

有り	無し
16.4% (57 施設)	83.6% (291 施設)

3.6.2 専門・認定看護師の人数

	0人	1人	2人	3人以上
急性・重症患者看護専門看護師 (306 施設)	69.9% (214 施設)	24.2% (74 施設)	3.9% (12 施設)	2.0% (6 施設)
集中ケア認定看護師 (333 施設)	28.8% (96 施設)	48.6% (162 施設)	17.4% (58 施設)	5.1% (17 施設)
救急看護認定看護師 (318 施設)	60.7% (193 施設)	28.0% (89 施設)	5.3% (17 施設)	6.0% (19 施設)
新生児集中ケア認定看護師 (293 施設)	95.9% (281 施設)	2.4% (7 施設)	1.0% (3 施設)	0.7% (2 施設)
小児救急看護認定看護師 (297 施設)	90.6% (269 施設)	9.1% (27 施設)	0.3% (1 施設)	0.0% (0 施設)
特定行為研修8区分修了看護師 (301 施設)	77.7% (234 施設)	14.6% (44 施設)	4.7% (14 施設)	3.0% (9 施設)

3.6.3 専門・認定看護師の合計*人数

0人	1人	2人	3人	4人	5人以上
8.1% (29 施設)	35.4% (126 施設)	27.0% (96 施設)	13.5% (48 施設)	6.7% (24 施設)	9.3% (33 施設)

※ 3.6.2 における専門・認定・8 区分修了看護師

3.6.4 加算病床2床当たりの看護師配置人数¹⁾

特定集中治療室管理料1または2 (161 施設)	1.39人 [1.18-1.61]、前年比 +0.07
特定集中治療室管理料3または4 (85 施設)	1.38人 [1.24-1.55]、前年比 -0.03
救命救急入院料2または4 (55 施設)	1.35人 [1.16-1.53]、前年比 ±0
小児特定集中治療室管理料 (8 施設)	1.24人 [1.03-1.36]、前年比 +0.06
全体 (309 施設)	1.37人 [1.18-1.57]、前年比 +0.05

1) 施設毎の「(看護師の8月延べ勤務時間数の合計²⁾ / (加算病床数 × 31日 × 24時間) × 2床」より算出

2) 入院基本料等の施設基準に係わる届出添付書類(様式9)の4.勤務実績表から抜粋

3.6.5 各時間帯に勤務する看護師数(加算病床2床当たり)

	平日			土日祝日		
	午前10時	午後8時	午前4時	午前10時	午後8時	午前4時
特定集中治療室管理料	2.00人	1.00人	1.00人	1.44人	1.00人	1.00人

1 または 2 (176 施設)	[1.63-2.50]	[1.00-1.20]	[1.00-1.08]	[1.19-1.83]	[1.00-1.14]	[1.00-1.00]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (97 施設)	2.00 人 [1.60-2.67]	1.00 人 [1.00-1.00]	1.00 人 [1.00-1.00]	1.50 人 [1.22-1.71]	1.00 人 [1.00-1.00]	1.00 人 [1.00-1.00]
救命救急入院料 2 または 4 (70 施設)	1.78 人 [1.40-2.50]	1.00 人 [1.00-1.33]	1.00 人 [1.00-1.14]	1.44 人 [1.00-2.00]	1.00 人 [1.00-1.33]	1.00 人 [1.00-1.11]
小児特定集中治療室 管理料 (8 施設)	1.93 人 [1.38-2.08]	0.95 人 [0.82-1.00]	0.95 人 [0.82-1.00]	1.46 人 [1.29-1.69]	0.95 人 [0.82-1.00]	0.95 人 [0.82-1.00]

※ 施設毎の「(各時間帯で勤務するおおよその看護師数/加算病床数) × 2 床」より算出

3.7 臨床工学技士の専従体制

	日勤+夜勤	日勤のみ	専従なし	その他
特定集中治療室管理料 1 または 2 (177 施設)	55.4% (98 施設)	19.2% (34 施設)	23.7% (42 施設)	1.7% (3 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (98 施設)	19.4% (19 施設)	29.6% (29 施設)	49.0% (48 施設)	2.0% (2 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (72 施設)	29.2% (21 施設)	18.1% (13 施設)	48.6% (35 施設)	4.2% (3 施設)
小児特定集中治療室管理料 (8 施設)	37.5% (3 施設)	12.5% (1 施設)	37.5% (3 施設)	12.5% (1 施設)
全体 (355 施設)	39.7% (141 施設)	21.7% (77 施設)	36.1% (128 施設)	2.5% (9 施設)

※ 専従:1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務(日替わり勤務を含む)

3.8 薬剤師の専従体制

	日勤+夜勤	日勤のみ	専従なし	その他
特定集中治療室管理料 1 または 2 (178 施設)	5.6% (10 施設)	61.8% (110 施設)	29.8% (53 施設)	2.8% (5 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (98 施設)	1.0% (1 施設)	52.0% (51 施設)	42.9% (42 施設)	4.1% (4 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (72 施設)	2.8% (2 施設)	72.2% (52 施設)	22.2% (16 施設)	2.8% (2 施設)
小児特定集中治療室管理料 (8 施設)	0.0% (0 施設)	37.5% (3 施設)	62.5% (5 施設)	0.0% (0 施設)
全体 (356 施設)	3.7% (13 施設)	60.7% (216 施設)	32.6% (116 施設)	3.1% (11 施設)

※ 専従:1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務(日替わり勤務を含む)

3.9 理学療法士の専従体制

	日勤のみ	専従なし	その他
特定集中治療室管理料 1 または 2 (178 施設)	46.6% (83 施設)	49.4% (88 施設)	3.9% (7 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (98 施設)	38.8% (38 施設)	60.2% (59 施設)	1.0% (1 施設)
救命救急入院料 2 または 4	26.4%	68.1%	5.6%

(72 施設)	(19 施設)	(49 施設)	(4 施設)
小児特定集中治療室管理料 (8 施設)	25.0% (2 施設)	62.5% (5 施設)	12.5% (1 施設)
全体 (356 施設)	39.9% (142 施設)	56.5% (201 施設)	3.7% (13 施設)

※ 専従:1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務(日替わり勤務を含む)

3.10 患者動態(中央値[第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.10.1 加算病床あたりの年間総入室患者数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (159 施設)	81.3 人/床	[61.7-97.3]、前年比 +1.5
特定集中治療室管理料 3 または 4 (95 施設)	74.7 人/床	[61.1-92.6]、前年比 -1.7
救命救急入院料 2 または 4 (62 施設)	59.9 人/床	[51.2-89.1]、前年比 -5.9
小児特定集中治療室管理料 (6 施設)	46.1 人/床	[37.3-51.7]、前年比 +3.2
全体(351 施設)	75.4 人/床	[56.9-93.1]、前年比 +0.3

※ 施設毎の「(総入室患者数/加算病床数)」より算出

3.10.2 加算病床あたりの年間延べ在室日数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (165 施設)	326 日/床	[279-378]、前年比 +4
特定集中治療室管理料 3 または 4 (85 施設)	300 日/床	[260-352]、前年比 +9
救命救急入院料 2 または 4 (61 施設)	308 日/床	[280-353]、前年比 -3
小児特定集中治療室管理料 (7 施設)	299 日/床	[253-353]、前年比 ±0
全体(318 施設)	316 日/床	[270-367]、前年比 +5

※ 在室日数は (退室日 - 入室日) +1 日 で計算

※ 施設毎の「(総在室日数/加算病床数)」より算出

3.10.3 加算病床の平均滞在日数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (164 施設)	4.23 日/床	[3.40-7.18]、前年比 +0.10
特定集中治療室管理料 3 または 4 (85 施設)	3.95 日/床	[3.29-4.69]、前年比 -0.09
救命救急入院料 2 または 4 (61 施設)	4.71 日/床	[3.92-5.98]、前年比 -0.39
小児特定集中治療室管理料 (7 施設)	6.45 日/床	[3.92-5.98]、前年比 +0.45
全体(317 施設)	4.27 日/床	[6.15-11.1]、前年比 +0.07

※ 施設毎の「(年間延べ在室日数/年間入室の総患者数)」より算出

3.10.4 年間あたりの広範囲熱傷患者数(344 施設)

0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人以上
69.5% (239 施設)	9.0% (31 施設)	4.4% (15 施設)	4.1% (14 施設)	3.8% (13 施設)	2.3% (8 施設)	1.7% (6 施設)	0.9% (3 施設)	3.4% (15 施設)

3.10.5 在室 14 日以上 of 長期滞在患者の割合(広範囲熱傷患者を除く)

全体(327 施設)	3.3%[1.4-5.2]、前年比 -0.2
------------	------------------------

※ 施設毎の「在室 14 日以上 of 長期滞在患者数 (広範囲熱傷患者を除く) / (年間入室の総患者数 - 広範囲熱傷患者数)」より算出

3.10.6 在室 60 日以上 of 長期滞在広範囲熱傷患者の割合

全体(103 施設) 0.0%[0.0-4.2]、前年比 ±0

※ 施設毎の「在室 60 日以上 of 長期滞在広範囲熱傷患者数 / 広範囲熱傷患者数」より算出

3.10.7 集中治療室管理料または救命救急入院料の非算定日数の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (151 施設) 14.9% [7.7-24.2]、前年比 -0.6
 特定集中治療室管理料 3 または 4 (81 施設) 14.1% [6.6-25.7]、前年比 +2.6
 救命救急入院料 2 または 4 (54 施設) 18.8% [10.9-28.6]、前年比 -1.0
 小児特定集中治療室管理料 (5 施設) 25.3% [13.6-42.5]、前年比 +5.6
 全体(291 施設) 15.5% [8.2-26.2]、前年比 +0.4

※ 施設毎の「管理料非算定となった年間延べ在室日数 / 年間延べ在室日数」より算出

3.11 同時収容可能な患者数(中央値[第 1 四分位数-第 3 四分位数])

3.11.1 同時収容できる人工呼吸器使用患者数(NPPV は含めない)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (176 施設) 10 人 [8-14]
 特定集中治療室管理料 3 または 4 (97 施設) 8 人 [6-10]
 救命救急入院料 2 または 4 (69 施設) 10 人 [8-14]
 小児特定集中治療室管理料 (8 施設) 10 人 [8-17]
 全体(350 施設) 10 人 [8-12]

3.11.2 同時収容できる ECMO 使用患者数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (174 施設) 2 人 [2-4]
 特定集中治療室管理料 3 または 4 (97 施設) 2 人 [1-2]
 救命救急入院料 2 または 4 (69 施設) 2 人 [2-3]
 小児特定集中治療室管理料 (8 施設) 2.5 人 [1.25-3]
 全体(348 施設) 2 人 [2-3]

3.12 治療介入の実施数(中央値[第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.12.1 人工呼吸器使用患者(NPPV は含めない)の人数(合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	人工呼吸器装着患者数
320 施設 (前年比 +28)	3,520 床 (前年比 +387)	104,532 人 (前年比 +10,614)

3.12.2 人工呼吸器使用患者(NPPV は含めない)の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (163 施設) 37.7% [26.0-50.5]、前年比 -0.7
 特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設) 31.7% [20.9-47.6]、前年比 ±0
 救命救急入院料 2 または 4 (56 施設) 40.2% [29.2-53.0]、前年比 -1.8
 小児特定集中治療室管理料 (8 施設) 48.2% [40.6-57.7]、前年比 -1.5
 全体(315 施設) 37.3% [25.0-49.4]、前年比 -0.8

※ 施設毎の「人工呼吸器使用患者数(NPPV 含めず) / 年間入室の総患者数」より算出

3.12.3 血液浄化療法実施患者の人数(合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	血液浄化療法実施患者数
328 施設 (前年比 +34)	3,598 床 (前年比 +433)	29,372 人 (前年比 +2,658)

3.12.4 血液浄化法実施患者 (CHDF,HD,PMX-HP,PE など) の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (169 施設)	8.3% [5.6-12.1]、前年比 -0.1
特定集中治療室管理料 3 または 4 (90 施設)	7.7% [4.4-12.2]、前年比 -0.3
救命救急入院料 2 または 4 (61 施設)	9.4% [5.1-15.0]、前年比 +0.8
小児特定集中治療室管理料 (8 施設)	1.7% [1.0-3.0]、前年比 -0.6
全体 (328 施設)	8.2% [4.8-12.2]、前年比 ±0

※ 施設毎の「血液浄化法実施患者数/年間入室の総患者数」より算出

3.12.5 ECMO (V-A,V-V) 実施患者の人数 (合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	ECMO 実施患者数
337 施設 (前年比 +37)	3,879 床 (前年比 +425)	4,735 人 (前年比 +898)

3.12.6 ECMO (V-A,V-V) 実施患者数 (施設当たり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (171 施設)	9 人 [4-19]、	前年比 +0.5
特定集中治療室管理料 3 または 4 (94 施設)	7 人 [1-14.3]、	前年比 +2.0
救命救急入院料 2 または 4 (64 施設)	16 人 [7-28]、	前年比 +5.5
小児特定集中治療室管理料 (8 施設)	8 人 [1.3-12.5]、	前年比 ±0
全体 (337 施設)	9 人 [4-20]、	前年比 +1.0

3.13 重症度評価

3.13.1 重症度評価の実施率

Closed ICU	85.7% (78 施設 / 91 施設)、	前年比 -5.0
Mandatory critical care consultation	79.9% (143 施設 / 179 施設)、	前年比 ±0
Elective critical care consultation	69.4% (59 施設 / 85 施設)、	前年比 -3.5
全体	78.9% (281 施設 / 356 施設)、	前年比 -1.9

3.13.2 実施している主な重症度指標 (279 施設) ※ 複数選択可

SOFA	76.3% (213 施設)
APACHE II	69.5% (194 施設)
APACHE III	10.8% (30 施設)
APACHE IV	0.0% (0 施設)
SAPS II	15.1% (42 施設)
SAPS III	0.4% (1 施設)
PIM2	9.3% (26 施設)
PIM3	11.1% (31 施設)
TRISS	0.7% (2 施設)
qSOFA	0.7% (2 施設)
ISS	0.7% (2 施設)

RTS 0.7% (2 施設)

NEWS 0.4% (1 施設)

3.13.3 APACHE II 中央値 [第1四分位数-第3四分位数]、中央値の前年比

特定集中治療室管理料 1 または 2 (98 施設) 14 [13-16]、前年比 -1

特定集中治療室管理料 3 または 4 (34 施設) 14 [13-16]、前年比 -1

救命救急入院料 2 または 4 (31 施設) 18 [15-21]、前年比 +1

小児特定集中治療室管理料 (0 施設)

全体 (163 施設) 15 [13-18]、前年比 ±0

3.13.4 SOFA 中央値 [第1四分位数-第3四分位数]、中央値の前年比

特定集中治療室管理料 1 または 2 (71 施設) 4 [3-6]、前年比 ±0

特定集中治療室管理料 3 または 4 (23 施設) 4 [3-5]、前年比 -0.3

救命救急入院料 2 または 4 (15 施設) 5 [4-6]、前年比 ±0

小児特定集中治療室管理料 (0 施設)

全体 (109 施設) 4 [3-5]、前年比 ±0

3.14 アウトカム(中央値 [第1四分位数-第3四分位数]、中央値の前年比)

3.14.1 年間ICU内死亡率

特定集中治療室管理料 1 または 2 (165 施設) 3.4% [2.1-5.6]、前年比 -0.4

特定集中治療室管理料 3 または 4 (90 施設) 4.3% [2.8-5.9]、前年比 -0.2

救命救急入院料 2 または 4 (59 施設) 8.8% [5.6-13.7]、前年比 -0.8

小児特定集中治療室管理料 (8 施設) 2.2% [1.9-3.0]、前年比 +0.6

全体 (322 施設) 4.3% [2.5-6.8]、前年比 -0.3

3.14.2 年間病院内死亡率

特定集中治療室管理料 1 または 2 (129 施設) 7.0% [4.6-11.1]、前年比 +0.5

特定集中治療室管理料 3 または 4 (81 施設) 7.8% [4.8-10.1]、前年比 +0.9

救命救急入院料 2 または 4 (48 施設) 12.8% [9.1-16.7]、前年比 +1.6

小児特定集中治療室管理料 (4 施設) 2.5% [1.9-3.7]、前年比 +0.0

全体 (262 施設) 8.3% [5.0-12.1]、前年比 +1.2

3.14.3 予測死亡率に用いた重症度指標

APACHE II 40.6% (132 施設)

APACHE III 4.9% (16 施設)

APACHE IV 0.3% (1 施設)

PIM2 2.2% (7 施設)

PIM3 4.3% (14 施設)

SAPS II 0.9% (3 施設)

未調査 46.8% (162 施設)

3.14.4 予測死亡率の年間平均値

特定集中治療室管理料 1 または 2 (76 施設) 18.6% [14.6-24.0]

特定集中治療室管理料 3 または 4 (36 施設)	19.0%	[7.5-22.9]
救命救急入院料 2 または 4 (21 施設)	33.8%	[20.2-36.0]
小児特定集中治療室管理料 (4 施設)	3.6%	[2.4-3.6]
全体(136 施設)	19.4%	[13.3-27.9]

3.14.5 標準化死亡比

特定集中治療室管理料 1 または 2 (61 施設)	0.38	[0.29-0.54]、前年比 -0.01
特定集中治療室管理料 3 または 4 (29 施設)	0.61	[0.31-0.80]、前年比 +0.17
救命救急入院料 2 または 4 (7 施設)	0.48	[0.32-0.77]、前年比 -0.03
小児特定集中治療室管理料 (3 施設)	0.93	[0.59-1.09]、前年比 +0.15
全体(100 施設)	0.45	[0.30-0.64]、前年比 +0.03

3.15 誤入力・用語不備などで、解析が困難であった調査項目

施設内の HCU 病床数

救命救急センターおよび救急科専門医研修施設の該当

4 まとめ

- * 集中治療専門医研修施設は 356 施設で(前年度より+13)、全施設から回答を受領した(回収率 100%)。
- * 集中治療専門医研修認定施設の集中治療室責任者の 83.4%が、集中治療専門医を保有していた。
- * 院内に HCU(ハイケアユニット入院管理料 1,2、脳卒中ケアユニット入院医療管理料)を保有する施設は 66.2%であった。
- * 集中治療室ベッド数の中央値[IQR]は 10 床 [8-14]で、そのうち陰圧病床は 1 床[0-2]だった。
- * 病院 100 病床当たりの集中治療室ベッド数(中央値)は 1.65 で、昨年度より 0.09 増加していた。
- * 運用体制は Mandatory critical care consultation が 50.4%(179 施設)と最多で、今年度は集中治療医がいない施設(No critical care physician)は無かった。
- * 集中治療室に勤務する専従医の総数は 1743 人(355 施設)で、昨年度より 251 人増加した。専任医の総数は 1451 人(349 施設)で、昨年度より 394 人増加した。その内訳では、集中治療専門医・救急専門医・麻酔科専門医のいずれも有しない専従・専任医の増加が目立った。
- * 集中治療室に勤務する専従医・専任医の人数は 7 人(中央値)で、Closed ICU 11 人、Mandatory critical care consultation 5 人、Elective critical care consultation 5 人(いずれも中央値)と、運用体制で異なっていた。
- * 集中治療室に勤務する専従医・専任医のうち集中治療専門医は総数 940 人、1 施設あたり 2 人(中央値)で、運用体制別では Closed ICU 3 人、Mandatory critical care consultation 2 人、Elective critical care consultation 2 人(いずれも中央値)であった。
- * 集中治療室における医師勤務体制では、24 時間を超える連続勤務を行う施設が昨年度と比べわずかに減少した(33.5→30.6%)。
- * 看護師の 8 月延べ勤務時間数の合計から算出した、加算病床 2 床当たりの看護師配置人数は 1.37 人/2 床(中央値)で、昨年度より 0.05 増加した。
- * 臨床工学技士・薬剤師・理学療法士の専従体制については、昨年度と比べて専従体制の無い施設が減少した。
- * 加算病床あたりの年間総入室患者数(全施設の中央値)は 75.4 人/床で、前年比 +0.3 だった。
- * 加算病床あたりの年間延べ在室日数(全施設の中央値)は 316 日/床で、前年比 +5 だった。
- * 加算病床の平均滞在日数(全施設の中央値)は 4.27 日で、前年比 +0.07 だった。
- * 前年度と比べ、在室 14 日以上長期滞在患者割合(広範囲熱傷患者を除く)は 3.5→3.3%(全施設の中央値)に低下したが、集中治療室管理料または救命救急入院料の非算定日数の割合は 15.1→15.5%(全施設の中央値)に上昇した。
- * 1 施設あたりに同時収容できる人工呼吸器使用患者は 10 人(中央値)で、同時収容できる ECMO 使用患者は 2 人(中央値)であった。
- * 人工呼吸器(NPPV 含めず)を使用した患者の割合は 37.3%(施設中央値)で、前年度より 0.8%低下した。
- * 認定施設における ECMO(V-A,V-V) 実施患者数は 3,837 人(2019 年度)から 4,735 人(2020 年度)に増加し、1 施設あたり 8→9 人(中央値)となった。
- * 認定施設全体の重症度評価の実施率は 78.9%で、2019 年度から 1.9%低下した。運用体制別では、Closed ICU(-5.0%)と Elective critical care consultation(-3.5%)で低下していた。
- * 各施設における ICU 内死亡率と病院内死亡率の調査実施率は、前年度と比べそれぞれ 80.8→

90.4%(277→322 施設)と 59.2→73.6%(203→262 施設)に上昇した。

- * 病院内死亡率と予測死亡率から算出した標準化死亡比(136 施設)は前年度と比べ 0.42→0.45(中央値)に上昇し、医療保険区分別では特定集中治療室管理料 3 または 4 と小児特定集中治療室管理料で上昇していた。